主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　5

ソロモンにまさる者としてのキリスト、ダビデの子を知り経験する（2）

キリストは復活の中で神の家としての召会を建造する

聖書：列王上 5:5．6:1-2．マタイ 12:6, 42

Ⅰ．ソロモンと彼によって建てられた宮は、キリストと彼のからだ、召会を予表し、それぞれ神の永遠のエコノミーの中心、実際、目標です――サムエル下 7:13 前半．列王上 5:5．6:1-2．マタイ 12:6, 42．エペソ 1:10, 22-23．3:9-11。

Ⅱ．幕屋と宮は召会の二つの面を予表します：

A．幕屋は荒野のために設計され、その性質は一時的でした。宮は王国のために設計され、その性質は永遠でした――出 40:2．列王上 6:1-2。

B．幕屋は地上での神の召会を予表しますが、宮はキリストの唯一のからだとしての召会を予表します。召会は各地に出現しますが、召会の霊的実際はなおも一つからだであり、それは唯一で永遠です――啓 1:11．エペソ 1:22-23。

C．宮は地上での神の住まいとして幕屋に置き換わりました。ですから、幕屋は宮とミングリングされました――列王上 6:2。

Ⅲ．宮はキリストの予表であり、またキリストのからだの予表でした：

A．宮はまず、地上での神の住まいとしての受肉したキリスト、神の具体化を予表します――コロサイ 2:9．ヨハネ 2:19-21：

1．神の家として、宮は幕屋の拡大であり、土台の石の上に基礎づけられました――列王上 5:17．6:37。

2．宮は石（造り変えられた人性）、香柏（復活の中の人性）、いとすぎ（死を通しての人性）、オリブの木（神の霊の中の人性）、金（神性）で建てられました―― 7, 9-10, 15-16, 21-23 節。

3．宮において、死を通しての、復活と造り変えにおける神性と人性のミングリングを見ます。

B．宮はまた宇宙における神の唯一の建造としての召会、キリストのからだを予表します――マタイ 12:6．Ⅰコリント 3:1-17．12:12, 27：

1．この拡大された宮は、キリストの拡大としてのすべての信者、キリストの肢体を含み、地上での神の住まいとなります――エペソ 2:21-22。

2．キリストと召会は一であって、キリストはかしらであり、召会はからだです―― 1:22-23．コロサイ 1:18 前半。

3．からだは神の住まいのためのかしらの拡大です。ですから、キリストの中の神の住まいは召会の中の神の住まいです。

C．主イエスは彼の復活の中で、拡大された方法で神の宮を再建し、それを団体のもの、キリストの奥義的なからだとしました――ヨハネ 2:19-22：

1．イエスの体、宮は十字架上で壊され、小さく弱いものでしたが、復活の中のキリ

ストのからだは巨大で力強いものです――Ⅰコリント 3:16-17．エペソ 1:22-23。

２．主イエスは彼の復活の日に、復活の命の中で彼のからだを拡大していました。彼はなおも復活の過程の下で、彼のからだの建造のために働いています――ヨハネ 2:19-22。

３．キリストは復活であり命であって（11:25）、死を命に変えて神の家を建てます。クリスチャンとしてのわたしたちの生活は、死を命に変えてキリストの奥義的なからだを建造する生活です―― 2:1-21。

Ⅳ．神の建造（キリストのからだとしての召会）のために、わたしたちは絶対的にキリストの復活の命の中にいなければなりません―― 11:25．ピリピ 3:10-11：

Ａ．キリストのからだとしての召会は、完全に復活の中にあります――Ⅰペテロ 1:3．エペソ 2:6．マタイ 16:18．参照、創 2:21-23。

Ｂ．「神は召会を、死に耐えることができる存在として見られます。ハデスの門は召会に対して開いていますが、ハデスの門は召会に勝つことはできませんし、召会を閉じ込めることはできません。ですから、召会の性質は復活です」（「教会の正当性」、34ページ）。

Ｃ．復活の実際は命を与える霊としてのキリストです――ヨハネ 11:25．20:22．Ⅰコリント 15:45 後半。

Ｄ．復活の原則は天然の命が殺されること、神聖な命がその場所に起こることです――Ⅱコリント 1:9。

Ｅ．わたしたちは天然の命によって生きないで内側の神聖な命によって生きるとき、復活の中にいます――ピリピ 3:10-11．1:21 前半。

Ｆ．復活の中で生きるためには、復活の神としての神を知り、経験し、得る必要があります。復活の神が働くとき、彼の命と性質がわたしたちの中に造り込まれます――Ⅱコリント 1:8-9．4:14, 16．ガラテヤ 4:19。

Ｇ．格別な復活に到達するとは、わたしたちの全存在が徐々に、そして継続的に復活させられることです――ピリピ 3:11．エペソ 2:5-6．ローマ 8:6, 10-11。

Ｈ．わたしたちが言うあらゆること、行なうあらゆること、わたしたちが召会生活の中であるあらゆることは、復活の中になければなりません。

Ｉ．わたしたちの天然の能力は十字架によって対処されて、復活の中で有益なものとなる必要があります。復活の中で神聖なものがわたしたちの能力の中に造り込まれます。こうして、わたしたちの「対処された」能力は神に満ちます――ピリピ 3:10-11。

Ｊ．わたしたちは復活の中で、「ツロ」と「ダン」からナフタリの部族への奥義的な転換を経験する必要があります――歴代下 2:14．列王上 7:14．創 49:21。

Ｋ．復活の中で生きるとは神の恵みによって生きることです。恵みとは、復活したキリストが命を与える霊と成り、復活の中の手順を経て究極的に完成された三一の神をわたしたちの中にもたらして、わたしたちの命また命の供給とならせ、わたしたちが神の建造のために復活の中で生きることです――Ⅰコリント 15:10，45 後半．3:9, 16-17。

©2006 Living Stream Ministry